

常磐文藝

馬

飯村開舟

人の愛慾を注る巨大な體軀の所有せる馬は飼主のいふがまゝに自由となりて馳驅して疲勞した如き態度を示し乍らも息はづませて背に帶ぶ主の手綱の折らるゝまゝの方向に飛鳥に走る總身の智慧の鈍き姿を眺めし我胸に對照して飼主の苛立てる胸は眞實に愛護を馬の馬に盡し居るかど獨り考案も鈍き阿呆の鳥の如く思案してぼう然と歸宅へ足を運べり。(完)

納豆賣

同人

踏み踰られし人間の貧家に生育を保つ少年の心は惑亂として軟柔と慨歎とより奮起して朝またき人姿なき町を籠を背負ひて「納豆々々」と鏜からしたる力なき聲を張上げて一ツ二ツと賣捌くけなげなる氣象と賣上金の重疊とは温情に圍繞さるゝ少年の安閑とせし徒輩より最後の差異は根の固く蛛巣にはりて支持する木の根と枝の枯れて腐朽する如き惘然とせる感ぞせる(完)

募集

文藝其他一般投稿を募集します

貸地廣告

平町舊城跡(本丸)飲料水の便よく住宅地に最も好適右御望みの坪數御貸申候間御來談願上候
加藤營業所
平町字白銀町
電話乙三三二番

看護婦派出

の求めに應ず
平町南町
電話三〇七番

平看護婦會

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雜誌が

自由に讀める

平町長橋町三五

川崎回文庫

(申込次第規則書進呈)

製材機械、人魚印丸鋸

自動注油メタル、プリーリー在庫
ゴムベルト、バラタベルト
平町月見町
佐藤鐵工所
電話三六二番

粹で上品な下駄を

是非

御求めの際は
平町二丁目(電話一五六番)

三井ハキモノ店

有給外務員募集

▲業務簡易月給五拾圓外手當歩合にて月收百圓以上
▲人員五六名廿歳より四拾歳位
▲御希望の方は履歷書持參の上大至急御來談あられんことを乞ふ
平町田町六八
丸登株式店
電話三三二番



株式買値中値

左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候

銘柄	格拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	七二〇
磐越銀行	二二五	一〇五
磐城實業	三〇〇	二八五
田村實業	二二五	二二五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二五五
同 新	一五〇	一九五
同 新	五〇〇	五五〇
同 新	二二五	一五五
同 新	二二五	九八
同 新	二二五	三九〇
同 新	二二五	一八〇
同 新	二二五	七〇
只見川電	二二五	一五三
植田水電	二二五	一三五
好問水電	二二五	一三五
磐城製菓	二〇〇	六〇
平信託	五〇〇	三五〇
磐城製菓	二二五	一三五
植田物産	三〇〇	二八〇
平製氷	二二五	二七〇
好問軌道	五〇〇	三五〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二二五	一〇〇
同 新	二二五	四三〇
同 新	二二五	一九〇
同 新	二二五	七五〇
同 新	二二五	三〇〇
同 新	二二五	八〇

東新株

先限 實物

平町田町 電話三三二番

丸登株式店

川添房二郎

寄書

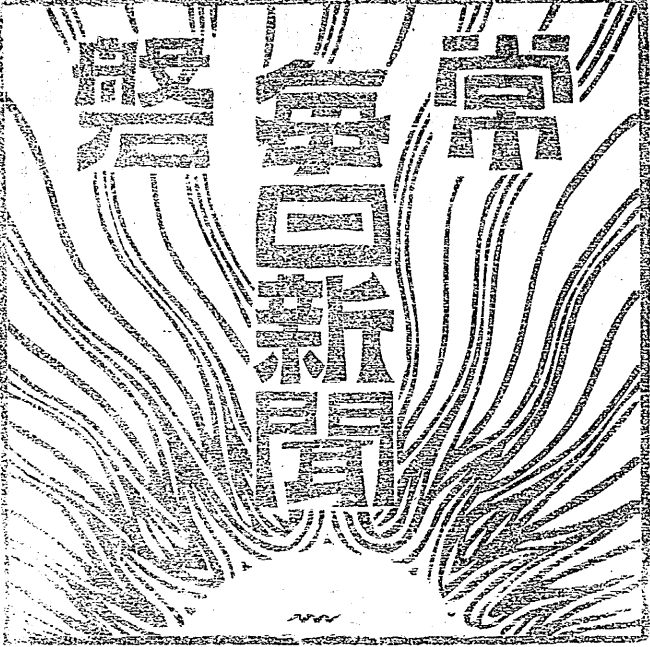
農村振興の實際方策を論ず(六)

不替大岳人

權利を行使するに何等の不足を見るものでないのである、我國に於ても近時晚播乍ら此の輿論の勃興を見るに至つたが我々は農村民の社會的地位を認識し其階級打破の正當を叫ぶ時に於て一日も速に此の權利を國民の過半数たる農村青年に認むべき事を大聲主張するものである、次に農民の地位を改善する上に於て吾人は地租軽減を主張するのである、明治二

十年自由改進黨の兩黨は時の政府に向つて地租軽減國權回復の條約改正言論集會の自由の三問題を提げて政府に迫り同年十二月有名な保安條令の發布となり未曾有の紛擾を見た事がある、時勢こそ移れ地租軽減必要の分量に於て現今と雖も變りはないのである、大正十一年二月の國會に於て此の農民多数の聲も時に利あらずして葬られたが、現今農村の頽廢に加ふるに農民は其課税の過重に苦しんで居るのである、平和が樹立され軍備縮少の聲高き近代に於て軍備の爲めに多く支出の目的を以て徴收された地租

税の軽減は至當至極の事であつて且又他に財源のある以上之が爲めに國務の執行上支障を及ぼす謂はれはないのである、殊に一方富豪が自己の庭園の全部を山林として脱税を計り其支配に係る法人の脱税を計るが如きに比して國家は余りに農民を虐待するに甚だしきものあるに於ておやである吾人は國民が平等に國權を尊重して之に服従する義務ある点よりするも此の過重なる地租の軽減に依りて農民の負擔を輕からしむるは經世家たるもの、採るべき方策であると共に農村振興策に與かつて力あることを斷言して止まないものである



刊夕日七十二月二

發行兼編輯人 川崎文治

福島縣石城郡平町字長橋町廿五番地
發行所 常磐毎日新聞社

定部金貳錢 廣五號十二休(日曜大祭)福島縣石城郡平町廿六番地
一月限り 廣告料 五字一圓 五字一圓 五字一圓
印刷所 一〇活版所

大事な印刷物の注文が 一時に地方へ殺到

震災で一時殆ど全滅した東京印刷界はその後漸く復舊して来たが未だ凄じい出版界の復興に伴ふまでに至らず群る定期 候補者の提灯持が多く 中に印刷してくれ 割増しはいくらでも 出すといふ鼻息の荒つばき 貧弱な印刷能力の持ち合し かない印刷業者は勝手古舞 をして居る、つい二三日前 にも清浦村長勝田小楢兩助 役を内閣に送つて居る例の 平和村で、勝田蔵相が發行 (入閣と共に相談役となる) して居た一流の經濟雜誌經 濟タイムスが東京では發行 が遅延して困るといふので 福島に 着眼し主幹遠 藤三郎氏が原稿持参で乗込 み福島印刷所に印刷を請負 はして歸つた今年地方印刷業者の當り年である

本縣銘産の振興と 團體を組織した

福島縣下の商工業者は目先の利益にのみ顧られ何等改善發達の途を講ずる事無く 逐年衰微衰退し東北にありながら他地方に比し甚だ其振はざるを遺憾とし福島大町生絲絹織物業油井徳藏氏が主唱となり東北銘産振興會を設立し當業者の發展向上を促すと共に縣下に於て生産する名産品を廣く他地方に紹介し以て聲價を高むべく奔走中であつたが廿五日から福島商業會議所會議

一、販賣は小賣卸賣等を研究すること
一、名産の品格を保持すること
一、例會を設け研究すること
一、積立金をなすこと
一、三月二十日頃創立總會を開くこと

合併承認

郡長の諮問
既報石城郡鹿島村に於ける小學校合併問題に關し一日も早く是れを達成せんと廿六日の同村々會に佐瀨郡長から諮問を出した處滿場一需要著るしく増加し

出炭制限撤廢か

從來常磐炭の制限六分餘 急速の解決は疑問
全圖炭礦主會は既報の會合で各地方の現行出炭制限率を九州北海道各八分五厘、常磐六分二厘五毛を撤廢することに意見の一致を見た模様で近く其旨發表すべしと傳へらる右の理由は近來塊炭の出炭量減少したるに需要は復興材料等によつて著しく増加したのにあると

大金遺失 東京府荏原郡平塚塚金子留五郎は商用を帯びて石城郡好間村に來り昨廿六日午後三時頃同村地内に現金百圓十錢在中の墓口を遺失し平署に届出た常磐炭の

送出高

前月より増加
常磐各炭礦本年一月中の送出炭高は廿二萬八千四百七十四噸で前月に比較し七千二百八十七噸の増加である

磐女自強會 磐城高等女學校では去る廿六日午後三時から自強會發會式を舉行し役員其他を決定したと

入坑手當を 勞働者に給す

磐城炭礦株式會社では來る三月上旬より從來の特別入坑給與を全廢し左記の如き方法で入坑手當を支給すと
△一等金七圓(但し十三工敷入坑者へ)
△二等金五圓(但し十二工敷入坑者へ)
△三等金二圓(但し十一工敷入坑者へ)
但し先山一工收得金一圓五十錢後山一工の收得金一圓である

熊野神社が 豊作の祈願

本年秋の豫報
石城郡錦村大倉鎮座熊野神社にては毎年舊正月十日野神社にては毎年舊正月十日

急速の解決は疑問

いふが京濱地方の如きは荷揚能力依然不足の結果出炭量増加するも急速の供給恢復は疑問とされて居る

身替り火傷

傳屋の秀さんと云ひば平町で殆んど知らぬ者のない程顔の賣れた車夫であるが名は北川秀彦君、福島市の辯護士であつて縣會議員中のキク北川次男君の弟である事に依つても既に異色の傳屋さんである事の想像に難くない、此秀さんが舊曆十五日に客を乗せて、鎌田田甫を走つて居た時其處に鳥小屋の火が着物に燃えつき生不動のやうな様で泣きわめいて居る子守女を目撃し自己の危険を忘れて背中中の幼兒を救つたが手に

珍聞奇聞

お雛様の供養

昨秋大震火災で澤山のお雛様が焼かれたので大供會の巖谷小波氏其他が主人役で雛供養

自動車と瀧車

東海道岡崎幸田間の踏切で自動車運轉手が居睡りした爲め瀧車と衝突し男女四名が重傷

花火が爆発す

千葉縣花火製造業石橋三次郎方で火薬製造中に爆発し附近に居合せた男女五名が重傷

通信 局長 歡迎宴

主なる出席者
一昨廿五日原町無線電信局

園藝大學 益々盛況

聽講者六百餘
開講後三日目の園藝大學は益々聽講者を増し第二日目にして卅名第四日目に於て四十名を増し總數六百餘名に達し昨日は恩田農學博士の果樹栽培園藝大勢を何れも熱心に聽講した

平驛遺失物

總數七十九点
平驛で今月扱つた遺失物總數は七十九点現金廿圓十七錢であつて品物は風呂敷包襟巻煙草入等が多いと

美善 (迎 歡 書 投)

身替り火傷
傳屋の秀さんと云ひば平町で殆んど知らぬ者のない程顔の賣れた車夫であるが名は北川秀彦君、福島市の辯護士であつて縣會議員中のキク北川次男君の弟である事に依つても既に異色の傳屋さんである事の想像に難くない、此秀さんが舊曆十五日に客を乗せて、鎌田田甫を走つて居た時其處に鳥小屋の火が着物に燃えつき生不動のやうな様で泣きわめいて居る子守女を目撃し自己の危険を忘れて背中中の幼兒を救つたが手に

肺病を苦しむ 宿屋で自殺

猫イラズを嘔む
平町白銀町小野新旅館に廿五日投宿せる茨城縣多賀郡助川町新町日立鑛山坑夫阿部忠太郎(四三)は當日午後六時離室で食パンに猫イラズを混入して食し自殺を圖つたのを同家女中が発見平署に急報し同署より柴田警部補出張調の結果原因は肺病を苦しめての自殺であるが目下藤沼病院に入院治療中生命に別状はないと